



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 小野建株式会社
 コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(氏名) 小野 建
 (氏名) 小野 信介
 配当支払開始予定日

TEL 093-561-0036
 平成27年12月7日

上場取引所 東 福

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	92,973	3.9	2,061	19.7	2,152	20.1	1,430	20.4
27年3月期第2四半期	89,481	16.8	1,722	△19.3	1,793	△19.4	1,187	△14.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,341百万円 (△3.3%) 27年3月期第2四半期 1,387百万円 (△2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	69.00	60.30
27年3月期第2四半期	57.28	50.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	133,935	55,395	41.4
27年3月期	133,060	54,468	40.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 55,395百万円 27年3月期 54,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年3月期	—	19.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,966	0.8	4,205	1.7	4,363	0.9	2,925	△1.6	141.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	21,244,830 株	27年3月期	21,244,830 株
② 期末自己株式数	519,120 株	27年3月期	519,050 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	20,725,752 株	27年3月期2Q	20,725,780 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善と設備投資の増加によって景気は緩やかに回復を続ける一方、中国をはじめとするアジア新興国の減速の影響等が残ることから、不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」の一環として、愛媛県松山市、茨城県神栖市での倉庫の新設、宮城県仙台市、千葉県浦安市での倉庫の増設計画は順調に進んでおります。業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前期に対して鋼材市況は下落したものの、販売数量の増加により929億73百万円（前年同期比3.9%増）となりました。損益面におきましては、売上高の増加により、営業利益20億61百万円（前年同期比19.7%増）、経常利益21億52百万円（前年同期比20.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億30百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

前期に対し、鋼材市況は下落したものの販売数量の増加ならびに工事売上の増加により売上高、利益ともに増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は482億74百万円（前年同期比3.7%増）セグメント利益は15億18百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

②関西・中京エリア

前期に対し、鋼材市況は下落したものの販売数量の増加により売上高は増加いたしました。利益につきましては不良債権の発生ならびに減価償却費の増加により減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は243億91百万円（前年同期比4.3%増）セグメント利益は1億31百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

③関東・東北エリア

前期に対し、鋼材市況は下落したものの販売数量の増加ならびに工事売上の増加により売上高、利益ともに増加いたしました。その結果、外部顧客への売上高は203億7百万円（前年同期比3.9%増）セグメント利益は3億97百万円（前年同期比30.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

前連結会計年度末比8億74百万円増加し、1,339億35百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金と商品が減少したものの、未完成工事における前渡金ならびに新倉庫建設の建設仮勘定が増加したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比52百万円減少し785億40百万円となりました。主な要因は、未完成工事における前受金が増えたものの、買掛金ならびに短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比9億27百万円増加し553億95百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主要販売商品であります鉄鋼商品の市況の動向や販売状況を鑑み、平成27年11月5日に第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正を発表いたしました。

詳細につきましては、平成27年11月5日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,709	2,566
受取手形及び売掛金	59,672	55,115
商品及び製品	20,023	16,900
原材料及び貯蔵品	1,194	1,207
その他	5,175	9,866
貸倒引当金	△96	△87
流動資産合計	88,677	85,568
固定資産		
有形固定資産		
土地	26,643	26,642
その他(純額)	15,960	20,023
有形固定資産合計	42,603	46,666
無形固定資産		
のれん	7	4
その他	143	138
無形固定資産合計	151	143
投資その他の資産		
その他	1,693	1,722
貸倒引当金	△65	△164
投資その他の資産合計	1,628	1,557
固定資産合計	44,383	48,367
資産合計	133,060	133,935
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,277	29,702
短期借入金	34,006	32,473
1年内返済予定の長期借入金	123	294
未払法人税等	237	768
賞与引当金	619	623
工事損失引当金	104	104
その他	3,800	6,572
流動負債合計	71,168	70,539
固定負債		
社債	5,019	5,016
長期借入金	731	1,317
役員退職慰労引当金	455	464
退職給付に係る負債	665	678
資産除去債務	57	58
その他	494	465
固定負債合計	7,424	8,000
負債合計	78,592	78,540

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	47,333	48,349
自己株式	△602	△602
株主資本合計	54,020	55,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	431	383
繰延ヘッジ損益	1	△31
退職給付に係る調整累計額	14	7
その他の包括利益累計額合計	447	359
非支配株主持分	0	0
純資産合計	54,468	55,395
負債純資産合計	133,060	133,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	89,481	92,973
売上原価	83,176	85,868
売上総利益	6,304	7,104
販売費及び一般管理費	4,582	5,043
営業利益	1,722	2,061
営業外収益		
受取利息	3	2
仕入割引	60	58
その他	71	107
営業外収益合計	134	168
営業外費用		
支払利息	24	34
売上割引	32	29
その他	6	12
営業外費用合計	64	77
経常利益	1,793	2,152
特別利益		
固定資産売却益	170	28
特別利益合計	170	28
特別損失		
固定資産除却損	0	2
役員退職慰労金	17	-
訴訟和解金	65	-
その他	1	-
特別損失合計	84	2
税金等調整前四半期純利益	1,878	2,179
法人税等	683	749
四半期純利益	1,194	1,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,187	1,430

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,194	1,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△48
繰延ヘッジ損益	91	△32
退職給付に係る調整額	△1	△7
その他の包括利益合計	193	△88
四半期包括利益	1,387	1,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,380	1,341
非支配株主に係る四半期包括利益	7	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。